

令和5年度復職支援研修  
**講義・演習コース実施報告**

講義・演習コース3：令和5年12月7日（木）～12月8日（金）

## 1. 目的

就業を希望する者に対し、最近における看護知識・技術を修得させ、未就業看護職に再就職を促すとともに就業の継続支援を目的とする。

また、新たな看護業務の発生や看護職員の休業等で緊急の要請があった場合、協力可能な看護職が不安なく業務に従事できるようにする。

## 2. 開催日

講義・演習コース3：令和5年12月7日（木）～12月8日（金）

## 3. 開催場所

宮崎県看護等研修センター

## 4. プログラム

(講師敬称略)

回数	午前	午後
1日目	開講式 9:20 看護の動向 (9:30～10:30) 看護に関係する社会環境の変化や最近の看護に関する動き等を学ぶ 宮崎県ナースセンター長 荒川 貴代美 復職支援講座 (10:40～11:20) ・職場の選び方・履歴書の書き方・職務経歴書の書き方・面接の受け方 宮崎県ナースセンター 小谷 やよい 自己紹介・意見交換 (11:20～12:00) 受講生間の交流を深め、再就業への意欲をさらに高める。	感染管理 (13:00～15:30) 感染の知識を深め、正しい感染予防の実際を学ぶ。感染予防の基本的技術を習得する。個人防護具の着脱の演習。 講師：平和台病院 感染管理認定看護師 柳原由美子氏
		ナースセンター登録の支援 (希望者のみ)
2日目	フィジカルアセスメント (9:30～12:00) 患者の状態から緊急性の有無を明確に判断・把握し、必要とされる看護ケアへつなげることー看護観察から判断まで (講義・演習) 講師：宮崎大学医学部附属病院 7階西病棟 看護師長 竹田久美子氏	医療安全研修 (13:00～15:00) 身近に起こりうる医療事故について知り、予防策について学ぶ。 講師：宮崎県立宮崎病院 医療安全管理科 リスクマネージャー 外山祥子氏
		研修の振り返り (15:00～15:30) キャリアシートを使って

## 5. 受講者の状況

① 受講者：3名 (未就業者3名)

② 取得看護免許

看護師3名

③ 年齢：28～38歳 (平均 33.3歳)

年代	受講生数	構成比
～29歳	1	33%
30～39歳	2	67%

40～49 歳	0	0 %
50～59 歳	0	0 %
60 歳以上	0	0 %

④ 看護職経験年数：0.1 年～8.0 年（平均 4.2 年）

経験年数	受講生数	構成比
1 年未満	1	33%
1～ 5 年未満	1	33%
5～10 年未満	1	33%
10～20 年未満	0	0 %
20 年以上	0	0 %

⑤ 未就業者 3 名の最終離職(または免許取得)から受講までの期間(ブランク期間)  
7 年～9 年（平均 8.0 年）

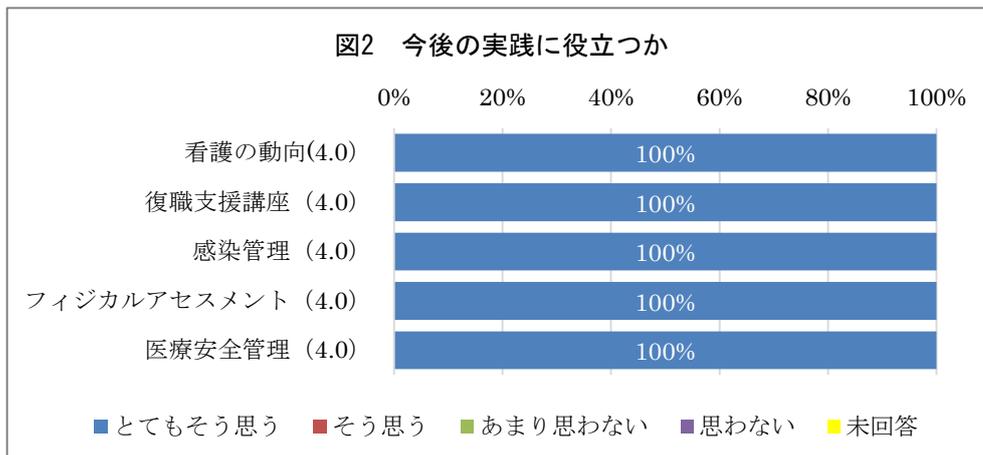
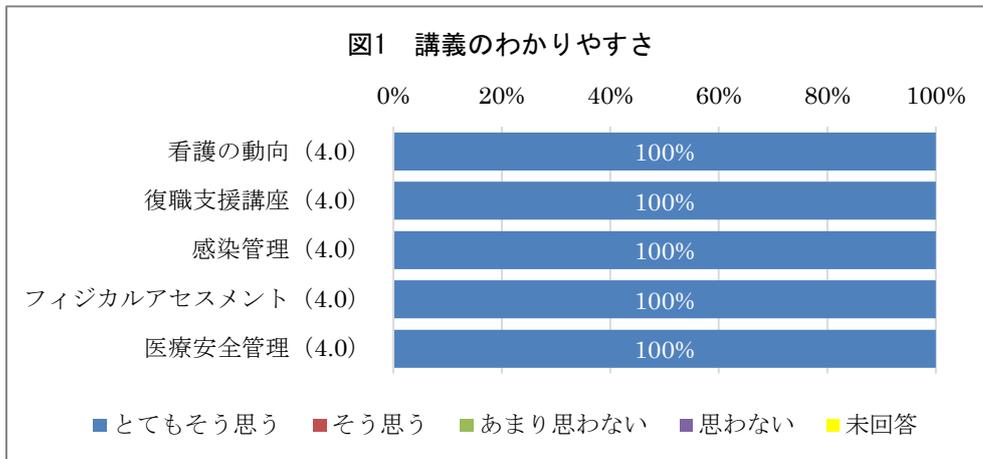
ブランク期間	受講生数	構成比
1 年未満	0	0 %
1～ 5 年未満	0	0 %
5～10 年未満	3	100%
10～20 年未満	0	0%
20 年以上	0	0 %

注意：四捨五入のため、内訳の合計が 100%にならない時がある。

## 6. 結果

各講義について、＜理解度（わかりやすさ）＞＜今後の実践に役立つか＞について 4 段階評価尺度と自由記述方式によるアンケート結果で示した。

### 1) 各講義のアンケート結果



## 2) 自己紹介・意見交換・研修の振り返り

### (1) 内容

#### ① 目標

受講生間の交流を深め、再就業への意欲をさらに高める

#### ② 内容

- ・ アイスブレイクと受講生自己紹介
- ・ 意見交換
- ・ キャリアの棚卸を活用し過去の振り返りと今後について考える

## 3) 受講しての感想

- ・ 訪問看護の重要性が増していることが分かった。
- ・ 看護師をする人は増えていても必要としているところがたくさんあるため不足しているという現状を知った。
- ・ 労働条件について、確認のタイミングを知れてよかった。
- ・ 就職する準備として気持ちを整えることも大切だと思った。復職支援研修を通して少しでも自信をつけたい。
- ・ 感染管理について再確認と学び直しができた。わかりやすかった。
- ・ これから看護の職につくにあたって防護服の着脱や手洗いの手順など再確認することができてよかった。
- ・ 看護師の取り巻く現状を知ることができた。
- ・ 観察点やそれによって自分たちがどのように動くのかアセスメントしていくのか、もっとももっと勉強が必要だと思った。看護師として気づくことができるようになりたい。
- ・ 覚えていない事ばかりで一から学びなおす必要があると強く思った。
- ・ 人間はミスをする生き物だということを念頭において、その上でどうすれば良いのかを考えていかなければいけないと思った。
- ・ 事例を見て身近で起きると怖いと思った。確認や報告の仕方も学べてよかった。
- ・ 過去の業務を思い出しながら、医療安全の大切さを再度学び直す事ができた。
- ・ 実際の事例を基に考えることができたので、気をつける点を学ぶことができた。
- ・ 勉強になる研修で来てよかったと思う。貴重な2日間だった。
- ・ 基本的ながらも難しい内容で、勉強し直す必要性を感じた。今回教えて頂いた事を今後活かしていきたいと思う。

## 7. まとめ

広報は、情報誌、新聞、市町村広報誌、ハローワーク等で行い、研修の申込は5名であったが家族の体調不良等に伴い3名の参加となった。

研修内容については、アンケートの結果のとおり満足度の高いものとなった。演習をすることで感染管理やフィジカルアセスメントについても理解が深まり、学ぶことの必要性を感じたようだ。参加者は少なかったが、かえって講師が、受講者一人ひとりの反応を確認しながらその都度説明したりする様子もあり、受講者にとっては、充実した研修だった。また、今回は、学ぶことの必要性を感じたようだ。

受講者は参加することを決心し研修に申し込み、会場に足を運ぶこと自体にも不安を感じている。その不安な気持ちに寄り添いながら受講者の状況に合わせ就業を支援していきたい。

研修の様子

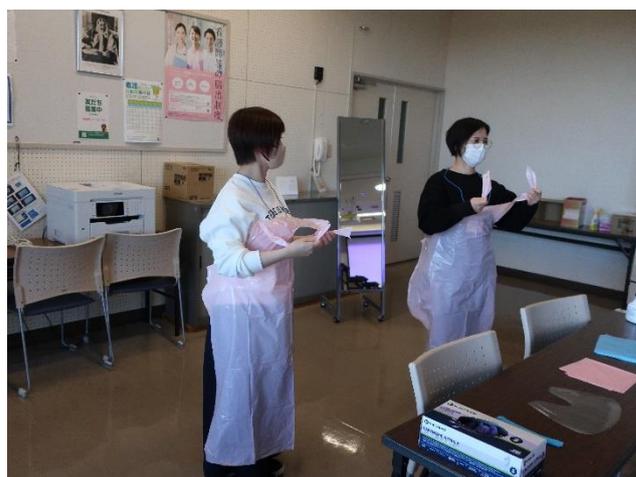
復職支援講座の様子



医療安全研修



感染管理 個人防護具の着脱の様子



フィジカルアセスメント 呼吸音の聴取の様子



